

原価企画とライフサイクルコストイング

～ 私企業から社会へ～

田坂 公（専修大学兼任講師）

矢澤信雄（和光大学非常勤講師）

・ 報告内容の要旨

本報告のポイントは2つある。第1に、通常原価企画は販売時点の私的コストのみを対象としているが、製品には開発段階から製造販売、使用、廃棄にいたるまでのライフサイクルにおいて原価が発生する。本報告では原価企画をライフサイクルコストにおいて実施した場合、いかなる課題が生じるか検討・分析を行う。第2に、製品に係わる社会原価まで含めたライフサイクルコスト（LC 全コスト）において原価企画を適用することを新しいツールとして提案し、このツールの応用の様々な可能性を探る。

1996年の原価企画特別委員会において以下の二つの立場が検討された。

ユーザーで発生するコストは目標原価に含めない。

ユーザーで発生するコストも、目標原価に含める。

本研究の立場は をさらに発展させて、「ユーザーで発生するコストおよび社会的コストも目標原価に含める」という立場から研究を行う。

研究対象としては、ガソリン自動車を取り上げる。自動車の社会的コストは宇沢[1974]において、過去に道路インフラ整備に係わる費用推計の試みが行われたが、本研究においては、以下のコストに注目して分析を試みる。

公的研究開発コスト

私的研究開発コスト

自動車一台当たり製造コスト

運用・燃料コスト

廃棄コスト

道路インフラ整備コスト

環境コスト

上記 ～ のコスト算定にあたっては、矢澤が過去に試みた社会原価にまで拡張したライフサイクル・コストイングの手法を適用する。

目標原価に社会的コストを含めた場合、企業の私的利潤のみならず、私企業が社会にもたらすコストが検討対象となり、究極的には個々の企業が社会で果たす役割が問われることになる。

【参考文献】

Ansari, L. S., J.E. Bell and the CAM-I Target Cost Core Group(1997), *Target Costing : The Next Frontier in Strategic Cost Management*, McGraw-Hill, pp.46-47.

Cooper, R. and R.Slagumlder(2003), " Strategic Cost Management: Expanding Scope and

- Boundaries," *Journal of Cost Management*, Vol.17 No.1, pp.23-30.
- Emblemsvag, J.(2003), *Life-Cycle-Costing' Using Activity-Based Costing and Monte Carlo Methods to Manage Future Costs and Risks*, John Wiley&Sons, Inc., New Jersey, pp.30-32.
- Kaplan, R. S. and R. Cooper(1998), *Cost & Effect : Using Integrated Cost Systems to Drive Profitability and Performance*, Harvard Business School Press, pp.202-227. (櫻井通晴監訳 『コスト戦略と業績管理の統合システム』ダイヤモンド社,1998年, pp.259-288.)
- Schmidt, F.R.(2000), *Life Cycle Target Costing - Ein Konzept Zur Iintegration der Lebenszyklusorientierung in das Target Costing -*, Shaker Verlag, S62, 76-77.
- Shilds, M.D. and S.M.Young(1991), " Managing Product Life Cycle Cost: An Organizational Model," *Journal of Cost Management for the manufacturing industry*, Vol.4 No.3, pp.39-52.
- Taylor, W.B.(1981), " The Use of Life Cycle Costing in Acquiring Physical Assets," *Long Range Planning*, Vol.14 No.6, pp.32-43.
- 池島政弘, 矢澤信雄, 田坂 公 (2005) 「会計手法の合理性 - 研究開発の4つのタイプについて」『経済性効果分析手法とコスト算定手法の開発』(平成15・16年度 科学技術振興調整費 調査研究報告書) 2-47 - 2-56 頁。
- 宇沢弘文(1974) 『自動車の社会的費用』岩波新書。
- 運輸省(1999) 『運輸白書 - 21世紀に向けた都市交通政策の新展開 - 』102 頁。
- 岡野憲治(2003) 『ライフサイクル・コストイング - その特質と展開 - 』同文館出版, 244 頁。
- 小林哲夫(2004) 「組織間マネジメントのための管理会計 - 信頼の構築とオーブンブック・アカウントイング - 」『企業会計』Vol.56 No.1,4-11 頁。
- 小林哲夫(1996) 「ライフサイクル・コストと原価企画」『国民経済雑誌』第173巻第3号, 1-13 頁。
- 崎 章浩(2002) 「戦略的コスト・マネジメント - 原価企画とプロセス原価計算、ライフサイクル・コストイングの結合 - 」『経営論集』第49巻, 第3・4号, 49-66 頁。
- 櫻井通晴(2004) 『管理会計第3版』同文館出版。
- 田中雅康(1995) 『原価企画の理論と実践』中央経済社。
- 国土交通省(2004) 『国土交通省白書 2005年版』
- 加登 豊(1998) 『ライフサイクル・コスト原価企画に関する実証研究』1995-1996年科学研究費補助金基盤研究(c)(2)研究成果報告書。
- 加登 豊(1993) 『原価企画 戦略的コスト・マネジメント』日本経済新聞社。
- 中島洋行(2005) 「ライフサイクル・コストを目標原価とする原価企画 - 克服されるべき課題の考察を中心として - 」『産業経理』Vol.64 No.4, 93-102 頁。
- 日本会計研究学会・原価企画特別委員会(1996) 『原価企画研究の課題』森山書店, 53 頁。
- 日本管理会計学会・企業調査研究会(2003) 「日本の主要企業の原価企画の現状(2)」2003年度日本管理会計学会全国大会(関西学院大学)報告資料。
- 矢澤信雄、平澤冷(2000) 「LC全コスト指標による政策形成-各種発電技術を事例として-」『研究技術計画』, Vol.15 No.3/4, p.214-226 頁。
- 矢澤信雄(2002) 「ライフサイクル・コストイング概念の拡張 発電技術への適用」『原価計算研究 Vol.26 / No.2』, p.17-27 頁
- 吉田栄介(2003) 『持続的競争優位をもたらす原価企画能力』208 頁。